

令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 01 子育て支援の充実
主管課： 児童福祉課
関係課： 保健センター、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
18歳以下の子ども及び保護者	子どもを安心して育てることができるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安心して子育てができるまちだと思う子育て世帯の割合						(%)	児童福祉課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
84.20	82.90	80.30	84.70	86.80	88.60	85.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より1.8%増加しています。 (原因) 児童センターや守谷駅前親子ふれあいルームの設置、地域子育て支援センターが行う親子で交流・活動ができる場の提供、保育所等におけるさまざまな保育サービスの提供などの充実を図っていることや、市内の公園が整備され、安心して遊べる場が多くあることが周知されていると考えます。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	3,679,308	4,203,692	5,812,275	5,141,694	5,287,449
人件費	223,315	249,006	289,212	0	0
トータルコスト	3,902,623	4,452,698	6,101,487	5,141,694	5,287,449

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 多様な保育サービスの提供	向上	維持	低下			1,963,548	2,521,410	3,960,856	3,531,154	3,683,971
02 安心して遊べる場の提供	横ば					139,103	138,565	94,227	119,785	119,669
03 子育て不安の解消と交流の場の提供	横ば	向上				41,836	46,330	55,262	59,323	60,333
04 子育ての経済的負担の軽減	向上					1,529,474	1,489,613	1,693,301	1,411,535	1,411,535
99 施策の総合推進						5,347	7,774	8,629	19,897	11,941

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

子育て中の女性の就業率の向上を図るため、新たに2箇所の保育所と2箇所の児童クラブを開設しました。今後も保育の見込み量や児童クラブのニーズを把握し、多様な保育サービスの提供に努めます。 また、「子育て世代包括支援センター」の運営により、保健センターや家庭児童相談室等の関係機関と連携し、子育てに関する総合的相談や切れ目のない支援の実施、子育て情報の提供等に取り組みます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、令和2年度中に施設を整備し、教育・保育ニーズに対する保育の場が確保され、入所不承諾児童は減少する見込みである。今後、計画の内容と実際の状況に乖離がある場合は必要に応じ見直しを検討する。 子どもの居場所や子どもが安心して遊べる場の提供、また子育てに不安をもつ保護者が気軽に相談できる場の拡充については、引き続き施策に取り組み、健やかに暮らせるまちを目指して、子育て支援の充実を図る。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

「第2期子ども・子育て支援事業計画」について、計画の内容と実際の状況について毎年度確認を行い、乖離がある場合は必要に応じ見直しを検討していきます。 子どもの居場所や子どもが安心して遊べる場の提供、また子育てに不安をもつ保護者が気軽に相談できる場の拡充については、引き続き施策に取り組み、健やかに暮らせるまちを目指して、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図ります。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持